

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	適用・適正化事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	今野 忠光			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市国民健康保険被保険者及びその世帯主	意図	国民健康保険被保険者の資格を適正なものにする。
事業内容	国民健康保険被保険者資格の適正化調査、窓口受付時の資格適用確認、外国人加入者への在留資格の確認及び適及加入者への適正な適及賦課を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	国民健康保険加入者のうち、重複加入していると思われる方、他の健康保険の扶養者として認定が可能と思われる方などに資格の適正化を図るための通知をするものの、効果は薄く、理解いただけずに協力を得られていない。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	喪失手続の必要性の認識	38.80	59.60	57.70	%	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果		<p>目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）</p> <p>資格の適正化は、給付・賦課・収納の公平性を保つため重要であり、積極的に取り組んでいる。平成29年度の指標は増加したが、国民皆保険制度への理解がなかなか得られず、啓発に対する反応率はまだまだ低い。</p>					
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,180,400	1,173,020	1,138,926			
事業費(b)(円)		13,350	31,980	18,286			
うち一般財源		13,350	31,980	18,286			
職員給与費(c)(円)		1,167,050	1,141,040	1,120,640			
人役・職員(人)		0.17	0.17	0.17			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	資格の適正化について周知を図る。	③取組における課題(Check)	届出勧奨などに対する反応率が低い。
②H30に実施した取組(Do)	重複加入されていると思われる方などへ調査を実施。資格適正化について、広報紙などに掲載し周知を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	資格適正化について、より一層の周知を図る。